

# 世界銀行グループ 保証プラットフォーム

シンプル且つアクセスのしやすさを実現

## 運用開始日

2024年7月1日

## 私たちのゴール

世界銀行グループの年間保証発行額を2030年までに現在の3倍となる200億ドル以上の水準まで引き上げることで、開発に更なる民間資本を動員したいと考えております。

## 保証プラットフォーム

上記ゴールに向け、世界銀行グループの保証商品と専門家を多数国間投資保証機関 (MIGA) に統合し、効率性と簡易化、そしてスピードを実現させるための保証プラットフォームを始動します。商品メニューもシンプルになり、官民両セクターのお客様が世界銀行 (WB) や国際金融公社 (IFC)、MIGA が持つベストなソリューションにアクセスできるようになると考えます。窓口は一つとなりますが、当面の間、各機関の特異性を考慮した上で、すべての保証商品はそれぞれの当該機関のバランスシート上での計上・処理が継続されます。

## 6つの大きな変更点

- 構造の集約:**  
保証業務の専門家をMIGAの1つの傘下に結集することにより、プラットフォームが顧客のプロジェクトニーズと優先開発課題の解決に最適なソリューションを選定
- 簡素化された包括的なメニュー:**  
世界銀行グループのすべての保証商品をわかりやすい商品メニューに再構成
- プロセスの効率化:**  
可能な限り重複プロセスを排除するべく保証審査のプロセスも簡素化
- アクセシビリティの向上:**  
グローバルな保証業務チームの育成と人的資本に投資し、お客様の世銀が提供する保証へのアクセスの更なる向上
- 規模の重視:**  
高いインパクトを齎す個別プロジェクト・プロジェクト群に資源を集中投下させるリスク加重アプローチを採用
- 革新的なツール:**  
民間セクターが直近の開発課題の解決に向け積極的に関わることができるよう革新的な新保証プロダクトの提供

## 世界的課題への取り組み

このプラットフォームは、すべての保証を合理化されたプロセスでまとめることにより、世界銀行グループが迅速かつ効率的にお客様のプロジェクトニーズと開発課題を満たすための最良の保証ソリューションを提供します。提供される保証は下記のような困難且つ重要な課題の克服へ活用が期待されます:

- ミニグリッドやオフグリッドを通じた、サブサハラアフリカとIDA適格国およびFCV国におけるエネルギーアクセス
- 中所得国における送電設備支援などによるエナジートランジション
- 世界銀行のマルチドナー基金である森林炭素パートナーシップ基金 (FCFP) との協力などを通じ、カーボンのクレジット市場の発展

## イノベーション

このプラットフォームでは、プロジェクトが従来の各機関の個別対応では達成が困難だった保証の組み合わせを通じたイノベーションも提供が出来るようになります。

- ポートフォリオベースの投資保証:** 商務リスク及び非商務リスク双方のリスクのカバーが可能となる可能性
- ストラクチャードギャランティー:** 資金源の異なる基金を組み合わせることで複数案件や複雑なリスクに包括的に対処することが出来る可能性。

実運用は、目下案件実例を元に精査中です。

## フォーカス

皆様にとって世界銀行グループとその“保証”への関わりを簡単なものにしていきたいと考えます。



### 民間企業と投資対象国

- マーケットとの親和性が高い保証オプションメニューが選択可能になっていきます。
- 本プラットフォームが世界銀行グループのすべての保証オプションへアクセスするための窓口として機能していきます。
- 複数の世界銀行グループの保証を活用するプロジェクトについて、重複するプロセスを省略することが可能となっていきます。



### 国際開発金融機関 (MDB) パートナー

- 目下前例のない複合的な危機に直面している発展途上国を効果的に支援するため、保証と保証以外のファイナンスツールを組み合わせるための総合窓口として本プラットフォームが機能していきます。

## バックグラウンド

現在、各国政府、多数国間機関、慈善団体は、単独では世界的危機に持続可能で粘り強く、包括的な形で対処するだけの十分な資金を有しておりません。巨額な資金ギャップを穴埋めするには、民間セクターを開発のパートナーとして共に取組んでいく必要があります。

この必要性を深く認識し、世界銀行グループは昨年より改革プロセスを開始しました。G20の独立専門家チームによる「国際開発金融機関の強化」の報告書において、民間融資のリスク軽減と促進のために保証の活用拡大の提言を頂き、我々は、民間資本の活性化と動員を目指す上での保証の有効性を確認しました。また、2023年には新興市場国への民間セクター投資の課題とその対応策を探るために世界銀行グループとして「民間セクター投資ラボ」を設立、保証ツールを活用する際のハードルの解消に向けた大きなご示唆を頂いております。

世界銀行グループの保証プラットフォームは、開発において「保証」が果たす役割を進化させるという一つの成果であり、開発に民間資本を引き寄せるといグループ全体の取り組みの中核となります。世界銀行は、途上国や新興国で民間資本動員に向けた環境を整備する為に、国レベルで必要とされる知識・ノウハウと金融支援を提供しており、環境が整備されるにつれIFCのアドバイザー、ファイナンスを通じた支援が出来、民間セクターは投資受入国と連携することが可能になります。

今回MIGAに設置される保証プラットフォームは、世界銀行グループを構成する3機関の保証を組み合わせることで、この上記一連のプロセスの中で民間セクターを支援する能力を備えることになると考えています。



開発委員会報告書



G20独立専門家チームの「国際開発金融機関の強化」報告書

### お問い合わせ

Elizabeth Howton  
ehowton@worldbankgroup.org

2024年4月現在